

令和 4 年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

和庄中学校区 校番13 学校名 呉市立和庄小学校

<p>a 学校教育目標</p>	<p>夢を持ち 自ら学ぶ ～気づき・考え・実行する～</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p><ミッション>(学校の使命) 確かな力と社会性を身に付け、地域を愛し、未来を創造しようとする 児童・生徒の育成 <ビジョン>(将来の学校像) 9年間を通して、夢を持ち自ら学ぶ児童・生徒を育成することにより、 保護者・地域から信頼される学校</p>
-----------------	------------------------------------	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点</p>	<p>現状(成果○と課題●) ○小中一貫教育の推進により、中学校区の共通経営理念に基づいた研究・教育活動が行われている。 ○「和庄中学校区授業モデル」に基づいた教科等の本質に迫る「考える授業」づくりに向け、中学校区で授業改善を進めることができている。 ○和庄中学校区「自主的・主体的な行動ができる児童・生徒を育てるカリキュラムマップ」を作成し、課題発見・解決学習に取り組んでいる。(防災教育) ●学力の個人差・学年差が大きい。(基礎・基本、活用力の定着に課題がある。) ●目的や場面に応じて自分の考えを表現することが難しい。 ●自主的・主体的に行動できる児童・生徒が少ない。(「自立」) (今年度の重点) ①育成すべき資質・能力の重点を「思考力・主体性」とし、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の推進。(子供の問いを生かした「考える授業づくり」)・・・ICTの効果的活用・思考ツールの活用・個別最適な学び ②防災教育の充実のために、地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践を行う。(家庭を巻き込んだ防災教育) ③和庄中学校区スピリットに基づく児童・生徒の育成を目指し、9年間を見通した組織的な生徒指導を行う。 ④健康増進・体力の向上に向け、家庭連携による基本的な生活習慣の定着を図る。(早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール)(小学校)</p>
---	--

<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性</p>
--------------------	----------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・②・③ 年目)					自己評価							
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期			
						i 達成値	j 達成率	k 評価	i 達成値	j 達成率	k 評価	
*** 確かな学力	学力の向上 (貫)	主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・判断力の育成 (貫)	・授業の中で習熟の時間を確保する。 ・和庄中学校区授業モデルに基づいた45分間の授業を実践する。 ・整理・分析に焦点を当てた課題発見・解決学習<ICTの活用>	・和庄中学校区授業モデルに基づいた授業ができた と答えた教師の割合 ・児童アンケートの肯定的評価 (「上半期」)「全国学力・学習状況調査」の通過率 県平均を超える児童の割合 (「下半期」)「指導法等の改善計画」検証問題 目標値を超える児童の割合	80 85 70 70							
			・家庭、地域を巻き込んだ防災教育を実施する。 ・避難訓練、防災訓練の充実を図る。	・児童アンケートで肯定的評価をした割合	85							
** 豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成 (貫)	粘り強くやり抜く児童の育成 (貫) 礼儀正しく感謝の心をもつ児童の育成 (貫)	・毎月1回、個人で反省カードを書く。	・最後まで黙々と掃除ができた と答えた児童の割合	85							
			・年間生活目標(返事・挨拶・靴そろえ)を定着させるためのキャンペーン期間を設定し、年間を通して取り組む。	・肯定的評価の児童の割合	85							
* 健やかな体	健康促進・体力の向上 (貫)	体力・運動能力の向上 (貫) 基本的な生活習慣の確立	・体育科の授業改善、充実を図る。(くれチャレンジマッチスタジアムへの参加、授業はじめにサーキット・コアオーディネーション運動を取り入れる。) ・外遊びの充実を図る。(外遊びの紹介、委員会)	・新体力テストの県平均を上回っている学年(男女別)の割合 ・児童アンケートで1日20分以上遊んだと答えた児童の割合	50 85							
			・元気っ子週間(早寝・早起き・朝ごはん+メディアコントロール)の取組を行う。	・21時以降アウトメディア達成できた児童の割合	65							
働き方改革	教職員の主体性・積極性が発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保 長時間勤務の削減	・週予定の打合せを充実させ、教職員一人一人がスケジュール管理を確実に進行。 ・会議の効率化を図る。	・児童と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合	80							
			・行事や業務内容の見直しを行う。 ・週1回の提示退校の徹底	・時間外勤務が月45時間以下の教職員の割合	100							

[k: 評価]
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60